

令和5年度心のバリアフリー教育グッドプラクティス 応募資料

学 校 名	白井市立白井第二小学校	
ア 全校児童生徒数	91名	(令和5年5月1日現在)
イ 実践対象 (学年・人数など)	①全校児童 91名 ②1、2、3年生 46名 ③全校児童 91名 ④4、5、6年生 45名 ⑤全校児童 91名	
ウ 実践内容 (実施時期・概要など) ※画像の挿入可	<p>①5月 「あすチャレ!スクール」(主催:日本財団パラスポーツサポートセンター)体験プログラム車いすバスケットボールゲーム ・パラアスリートの方をお招きし、車椅子バスケットボールの体験やお話を聞くことで、可能性を信じ、やってみることの大切さを実感していた。</p>  <p>②6月 地域の社会福祉協議会の方と昔遊び(保護者も参加の3世代交流) ・地域の皆さんから昔遊びを教わり一緒に楽しんだ。保護者も本気でベーゴマ競争を始めていた。幼い弟妹も来校し、幅広い年齢が集う楽しい交流の時間となった。</p>  <p>③11月 敬老会(「みどりの里づくり協議会」主催) ・地域の高齢者の方々をお招きして、和太鼓演奏披露(5、6年生)や、総合の時間に自分たちで考えたパラスポーツを一緒に楽しんだ(4、5年生)。1、2、3年生はお土産に入れる、感謝の言葉入りのカード作りを行った。地域・家庭・学校が一緒に力を合わせた、地域のまちづくり協議会主催の取組である。</p>     <p>④11月 地域の方とグラウンドゴルフ(保護者も参加の3世代交流) ・児童と保護者が地域の方からコツを教わり、グラウンドゴルフを一緒に楽しんだ。校庭が歓声に包まれた。</p>	

	<p>⑤1月 ザ・白二祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が考えたゲームを保護者や地域の方に楽しんでいただく文化祭のような行事。
エ 実践の普及啓発 (地域等との交流や 広報方法など)	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だより、学年だよりにて広報。 ○保護者も参加。 ○学校のホームページに掲載。 ○「みどりの里づくり協議会」の会報誌にて地域に広報
オ 実践成果 (児童生徒の変化など)	<ul style="list-style-type: none"> ○「あすチャレ! スクール」では、やってみることの大切さを実感していた。本校の学校教育目標の副題が「チャレンジ!」であることもあり、自分になりたい自分に向かって失敗を恐れずに取り組む児童が増えた。児童の学校評価で「目標をもって生活している」の項目の数値が上がっている。 ○「みどりの里づくり協議会」の活動が本格的に動き始め、地域・家庭・学校が連携して子育てを行う場が増えた。特に本年度初めて行った敬老会は実り多い学びとなった。今までは、社会福祉協議会との連携で、高齢者体験や目や耳の不自由な方から教わる、設定されたプログラムを児童が体験することが多かった。しかし、敬老会は自分たちが招く側となり、高齢者はどんなゲームが楽しめるか、どのように誘導、説明、実施すればよいかを試行錯誤しながら準備した。当日は、台本に縛られることなく、目の前の高齢者に合わせて行動することができた。来校者皆さんが喜んでくださっただけでなく、児童も人を思いやって一緒に行動することで、十分に充実感や幸福感を味わっていた。 ○本校は外国籍の児童が7名在籍しており、その仲間と共に保護者、地域の皆さんと触れ合うことで、国籍や年齢、性別、不自由さにとらわれることなく、どの人にも「心のバリアフリー」の気持ちで接することができている。 ○地域とのつながりもでき、挨拶をしたいとか、困っていたら声をかけたいなど、防災の点からも「共助の考え」が育ってきている。
カ 次年度の予定 (課題や改善策など)	<ul style="list-style-type: none"> ・②～⑤までの実践は、来年度以降も継続して行っていく。今後も家庭・地域が連携してより充実した取り組みになるよう考えていく。 ・総合的な学習の時間で、福祉教育を継続していく。
キ 添付資料 (広報資料・Web記事など)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だより (5月31日、11月30日発行) ・学校ホームページ (11月7日更新) ・みどりの里づくり協議会 会報誌「カワセミ」12月号 (地域回覧) ・みどりの里づくり協議会 敬老会 チラシ (地域回覧)

※A4サイズ2ページ以内に調整すること。